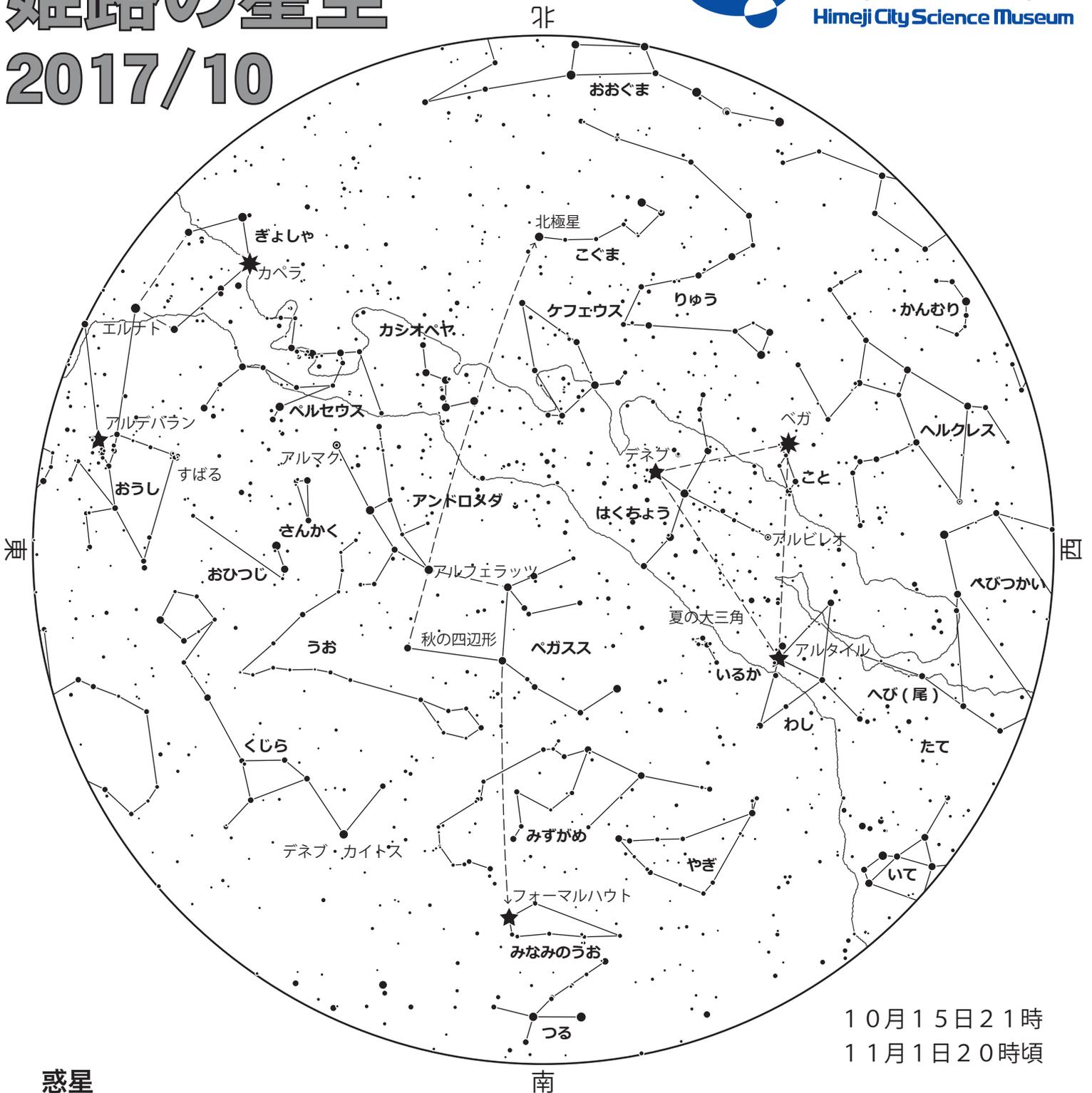


姫路の星空

2017/10



姫路科学館
Himeji City Science Museum



10月15日21時
11月1日20時頃

惑星

日没後、南西の空に土星が見えますが、暗くなる頃には高度が低く、望遠鏡の観察には向きません。

星座の星

西の空に夏の大きな三角が見えます。三角を作るのは、**こと座**のべが、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。夏の第三角は、クリスマスの頃まで、日没後の西の空に見えます。

南から東の空にかけて秋の星座が見えます。目印は秋の四辺形です。四辺形の右下（南西）の角の星から「へ」の字のさかさまのように続く星を合わせると、空飛ぶ馬**ペガス座**になります。また、ペガサスの背中からおへそに線を引き、そのままのばすと**カシオペヤ座**を通過して北極星に届きます。北極星はカシオペヤ座からも探せますよ。北極星とカシオペヤ座の間には**ケフェウス座**があります。ペガサスの後脚にも見える**アンドロメダ座**、その先にあるペルセウス座、南東に横たわる**くじら座**などは、「エチオピア王家物語」の登場人物たちです。秋の四辺形から南に向かって線を伸ばすと、秋の星座でたったひとつの1等星**みなみのうお座**のフォーマルハウト見つけられます。

東の空には**おうし座**や**ぎよしゃ座**の姿も見え始めています。季節は静かにめぐります。